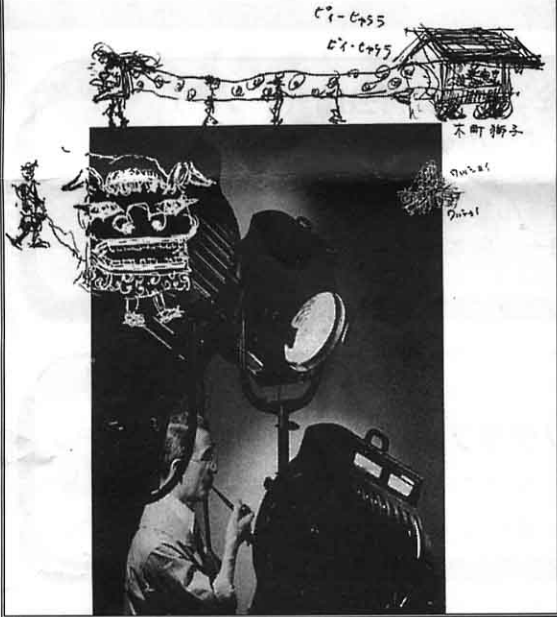


第41回

上田高等学校関東同窓会 総会

日時 平成14年7月13日(土)  
場所 神田一ツ橋 如水会館  
上田高等学校関東同窓会 執行部/総会実行委員会



↑パンフレットは、65期の荻野道明さん(写真家)と甲田幹夫さんの手で個性的なものになった。荻野さんは同窓の写真家達を紹介。表紙の写真は旧制上田中学を中退してアメリカに渡り、写真連盟の最高栄誉の称号を得たというハリー・K・シゲタ(重田欣二)氏。カットは甲田さんが描いた木町御輿。甲田さんは代々木上原で天然酵母のフランスパンの店「ルヴァン」を経営。著書「ルヴァンの天然酵母パン」(柴田書店)もある。

↓受付をする実行委員の皆さん



秋葉議長(55期)



木下実行副委員長(60期)

## 第41回総会 275人参加

### 第14代石井執行部スタート

### 異業種交流の大センターに

上田高校関東同窓会第41回総会は、7月13日午後、東京・神田一ツ橋の如水会館で来賓を含め275人が参加して開かれた。総会は第14代会長に石井光春さん(54期)、幹事長に成田邦夫さん(56期)など新執行部を選出、第13代会長丸山瑛一さんからバトンを受けた石井新会長は「同窓会は多士済々の一大異業種交流の場。伝統を受け継ぎ、みなが楽しく集える方向を目指したい」と抱負を述べた。(新会長インタビュー4ページ)

来賓として参加した本部の笠原一洋理事長(昨年10月就任)は、本部財政の厳しい状況から年会費制の導入の検討などを訴え、母校の小山壽一校長(65期)は、「自主自立、文武両道の精神を育て、来るべき学区制変更(大学区)にも対応していく」と力強くあいさつした。引き続き懇親会は、66期の黒坂正文さん(黒坂黒太郎)のコカリナ演奏という新しい趣向で幕を開け、新卒の第1000期生を含め、70年近い年齢差を超えて、和気あいあいの集いとなった。

**母校便り**  
長野県は04年度から現在の12学区制を昔の4学区制に戻す。実に30年ぶり。また隣接学区への進学も認められる。従って東信地区は全県から受験できる一方、全県に進学できることになり、母校も激しい競争の中に入る。百年の伝統に加えて新しい伝統を築いていくことが課題になり、週休二日制に伴い65分授業とし時間の確保を図っている。クラブは85%が参加、春に空手班が男女とも、夏には将棋、囲碁が全国大会に出場した。

←新入会員と母校の先生方



# 行動する同窓会へ

## 新プロジェクト続々スタート

執行部は副幹事長の増強などに伴い「行動する同窓会」を目指し、石井会長の指示で新プロジェクト・タスクフォースをスタートさせた。代表幹事、クラス幹事などを中心にいろいろなことを企画していく。参加者の輪を広げ、呼びかけていくので、ぜひ仲間に声かけをお願いします！

### 1 講演会

12月3日(火) 午後6時 於：日本教育会館(一ツ橋)  
講師 小林茂昭氏(54期) 「脳の大切さ」(仮題)

当日は拡大幹事会を予定していますが、幹事を囲んで、同窓の皆さんが多数参加されるようお願いいたします。参加自由。小林茂昭氏は、信州大学医学部脳神経学科教授。医学博士。日本脳神経外科学会会長他歴任。

### 2 ゴルフコンペ

12月17日(火)  
於：サミットゴルフクラブ(茨城県石岡市)

石岡インターから15分。常磐線石岡駅からタクシー。6組を予約。石井会長夫妻も参加予定。定員になり次第、締め切りますので、お早く。親睦の輪を広げましょう。連絡は下記講師募集の宛先(宮島)まで。

### 3 母校への社会講座

現役または引退された同窓生が、母校を訪れ、自らの経験を先輩として直接在校生と語り合う会を企画しています。週休2日制になりましたので、土曜日を活用します。

#### 1. 内容

先輩としての自分の経験、職業案内など。

#### 2. 形式

話し方は、大勢の学生に壇上から講演するのではなく、通常の教室で希望者の学生を相手に、レクチャーする形式とし、質疑応答も行う。学生数は1回当たり50名前後を予定。

#### 3. 開始時期

平成15年4月以降の土曜日予定、60-90分程度。

#### 4. 講師募集

希望者は平成15年1月15日までに、氏名、卒業期、経歴または話したい事の概要など併記の上、下記宛ご連絡下さい。

宛先：関東同窓会副会長 宮島光男

横浜市戸塚区戸塚町4359-9 fax: 045-864-1664

電子メール アドレス: mimiya@violin.ocn.ne.jp

#### 5. 経費

講師には上田高校までの往復旅費のみ負担させていただきます。

# 都心西麻布に待望の拠点

## 同窓会事務所を開設

「雨の西麻布」など歌でも知られる港区西麻布のマンションに、10月1日、関東同窓会の事務所が開設された。住所は港区西麻布四一〇一七七一〇二(〒一〇六〇〇三)。事務局では、同期会、同好会の打ち合わせなどにも利用してもらえよう、会員の集いの場として呼びかけていく。

事務所は外苑西通りと六本木通りが交差する西麻布交差点から徒歩2分ほどの秀和西麻布レジデンス1階102号室。もともと、馬場武彦副会長(54期)が経営している株式会社エバロンの事務所だが、広さ33平方メートルのうち25平方メートルを空けて貸していただいた。家賃は月額4万円、期間は3年間で契約した。

石井執行部は8月の新旧執行部引き継ぎ会議で「同窓会拠点の確保」が重要課題として取り上げられたのを受け、エバロンの事務所の一面を借り受ける方針を固め、9月24日の幹事会に提案し、採択された。

### 都バスの停留所

- ・新橋・渋谷01 霞町停
- ・品川車庫・新宿駅西口
- ・西麻布停
- ・目黒駅・千駄ヶ谷駅
- ・西麻布停

事務所の電話番号 03-3407-5014 (FAX 03-3407-5008)



事務所には専用のパソコンを置き、ホームページのセンターにもなる予定。

### ホームページも開設

HP得意な運営委員を募集!!  
<http://www.h5.dion.ne.jp/~uedakant>



### 新役員紹介

- 会長 45期 石井光春
- 副会長 44期 馬場武彦
- 幹事長 56期 成田邦夫
- 副幹事長 57期 宮坂幸雄
- 58期 金子親碩
- 61期 井上希代子
- 63期 川村恭司
- 65期 上原昇
- 58期 山邊光一
- 63期 山浦成子
- 53期 堀内忠久
- 61期 井上剛
- 51期 丸山瑛一
- 44期 柳澤廣
- 51期 村田寛
- 42期 横山誠之助
- 48期 山崎延秋
- 50期 蓮沼
- 54期 倉島彰
- 78期 小林恒雄
- 59期 金井久
- 58期 有賀勝雄
- 61期 滝沢進
- 64期 石井則男
- 66期 高寺好一
- 58期 寺島知恵子
- 55期 宮島光男



### 執行部の業務分担 (下線はチーフ)

- 総務 馬場 成田 金子 有賀 井上(希) 上原
- 財務会計 山邊 山浦 大久保 金子
- 広報 井上(剛) 宮島 成田 寺島 宮坂 金井
- ホームページ 宮坂 石井 井上 上原 成田 宮島
- タスクフォース 宮島 馬場 大久保 石井 寺島
- 会務全般及び各業務間調整 成田 宮島 大久保 石井



54期

石井 光春氏

(関東同窓会新会長  
・住商リース(株)  
社長)



総会で挨拶する石井新会長

秋晴れの午後、石井光春新会長のオフィスを訪ねた。毎年、同窓会総会が開かれる如水会館の12階にある住商リース社長室。窓からは皇居の木々が色づき始めている。財界でも辛口派として知られる石井さんは、思いをぶつけるように語り続けた。澄み渡る秋空のようなきわやかな気分にもなった。

(聞き手は宮島)

## 集う場を広げ面白く

—会長就任、ご苦労さまです。4ヶ月たつて、印象は？

石井会長 結構、会議で忙しいね。デュープロセスとしての必要性は分かるが、会議をして物事を決めて終わりで面白くない。だから、タスクフォースを組織し、みんなが集まれる場を作っていくと提案した。同窓会というのは、大きな異業種交流の場であり、また異年齢交流の場なのだから、それ

を活用して面白いことをやろう、と。

同じ高校の門をくぐったという連帯感で集まれるのは素晴らしい。海外生活が長かったから、同窓会のことあまり知らないが、恩返しのためにも新しいことをしなければ。

母校で先輩が職業体験を語る「社会講座」は、成田幹事長の提案だが、いいアイデアだ。

—高校のころから行動派でしたね。同期の外交官、丸山俊二さんが総会資料で紹介していましたが、英語クラブで活躍したり、放送班で活動したり。大学(東大)に行つてからも母校の甲子園応援に出かけたり。印象に残る思い出はありますか。

石井 一つ挙げると、高3の前期に生徒会長をしたことかな。周りはみな受験態勢に入っているのに、こちらは何周遅れのマラソン。でも、学校との交渉やクラブ活動でも手を抜くことは考えなかった。終わつてから、集中したね。

大学に入つて驚いたのは、都会と田舎の格差。こちらはほんの子供で、相手は社会性も鋭い。最初は太刀打ちできないなあ、という印象だった。人生に指針を与えてくれたのは大学3年の夏休み、丸山真男の「現代日本の政治と行動」との出会い。これはすごい、と感じた。今でも休暇で田舎へ行くときは彼の講義録を読んでいる。

## 村社会から脱却を

—商社マンというのは、最初からの目標ですか。

石井 とにかく海外に出たかった。それで外交官を考えたんだが、家が室賀

の貧乏農家で留年することはできない。そこで海外に行けるだろうと住友商事の人事に行つたら即決(笑)。人生の選択というのは面白い。アメリカで10年余、中国で4年、合計ほぼ15年の海外駐在だったが、外から日本を見ると、つくづく「村社会」だと感じる。仲間内の閉鎖性、というのか。

中でも、日本の学校の閉鎖性は象徴的だ。子供は2人とも帰国子女だが、アメリカでは着いた翌日から公立ならどこの学校でも受け入れOK。語学はチューターがついて指導してくれる。

日本に帰つてきたら東京に150校ある公立高校で、帰国子女を受け入れるのはたった3校。その試験が、作文、国語に英語。日本人が日本の学校に入れない。どこの学校でも外国人や帰国子女をオープンに受け入れ、出口を厳しくするようにしないと、国際性など口先だけで終わる。アメリカのビジネスフレンドが「子供には、民族、国籍、人種を問わずどこでも教育を受ける権利がある」と言ったが、そうした理念が必要だ。

国際性を身に着けるといふ点で言うと、中学や高校では「ディベート」の時間をつくるのが必須だ。「日本人は英語ができない」というが、ディベートの能力を高めれば、英語なんていつでも使えるようになる。主張すべき内容がないから話ができないので、これからの教育カリキュラムにはディベ

トを位置づけていくべきだ。

## 企業に求められる倫理

—企業のトップとして、東京電力、雪印など最近の企業の不祥事をどう見えていますか。

石井 根本で大事なものは、企業は社会に支えられているという理念だ。「社長」というのは一つの機能に過ぎないので、すべての社員がそういう理念を共有し、情報をオープンにする。この会社では、悪いニュースはすぐに皆に知らせる。失敗してもすぐに報告があれば責任は問わない。その代わり、隠蔽したり報告を怠つたりしたら許さない。そうした積み重ねが企業倫理として確立されていくのだと思う。

—これからの同窓会をどのように引張つていきますか

石井 今は同窓会に集まる人たちの年齢層が結構高い。もう女性も大勢入ってきていることだし、総会に女性が3分の1、20代から40代までのもつと若い層が3分の1ぐらいになるような形に持っていければいいなあ。そういう魅力を持つプロジェクト、アイデアを募っていきたいね。

社長室で書類を決裁する石井氏



# リレー随想

## 関東同窓会

### の人々

44-5期

柳澤 廣

三十年に互る在京生活で、私は同窓会とは深いご縁

を持たせていただいた。同窓会は東京支部から関東支部へ、さらに、関東同窓会へと発展して来たが、その中で、私は常に何等かの任務を与えられて、錚々たる会員の皆さんとの素晴らしいご交誼を得たのである。その思い出は私にとって永遠の青春であり、あれこれ顧みると万感胸に迫るものがある。



総会で森浩一前副会長（52期・スポーツニッポン前代表取締役）と

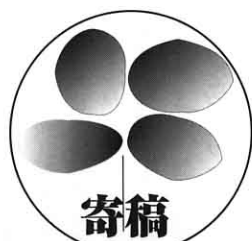
昭和三十年頃のことと思う。上京の度に私の勤めていたホテルを利用しておられた恩師竹内敬太郎先生のお誘いで「同窓会開催準備の各期代表打ち合わせ会」へ高校と職場で後輩の石井紀生（51期）君（英語が得意だった）と出席した。その時、私が「会のために一生懸命働きます」と挨拶したため、それ以来、長い間私たちのホテル（全都市会館・都市センターホテル）が上田高校関連の「御用達」のようになって、草創期の頃は幹事会やその他の会合に利用していただくことになった。因みに、当時の会食代は500円で、幕の内弁当にビール大瓶が二人に一本付いたのを思い出す。

ここで、遙か遠い日になったが、あの頃、同窓会活動に尽力され、会の隆盛と伝統を築き上げられた方々のお名前を列記して往時を偲ぶますがとしたい。ただ、悲しいことに、鬼籍に入られた方も多く、また、私の記憶も十分とはいえないがご容赦願いたい。

- 清水菊三（7期）勝俣稔（8期）宮入清四郎（10期）稲垣征夫（14期）井出俊一（18期）布施信夫（19期）吉井道教（20期）島田次郎（21期）大森頼雄（23期）馬場長市（25期）酒井俞一（26期）坂井実雄・吉田為雄（28期）峯村文人・尾台三吉（30期）宮坂三吉・土屋学・柳達雄・矢島五郎（31期）中村礼三・高見沢澄平（32期）土屋三三男・弘世弘信（33期）島津俊治・清水宣人（34期）花岡倭（35期）深井安児夫・丸山英人・神野勝男・清水谷孝尚（36期）

- 関邦雄（37期）松岡仁太郎・永藤勝（39期）小林郷司・荻原愈（40期）宮下俊夫（41期）横山誠之助（42期）小林勇・上野敏雄（43期）星野賢造・南沢次雄・堀内茂雄（44-4期）春原新作（45期）小山邦朋・竹内操（47期）小木曾誠・清水卓・堀内惇・柳沢健・山崎延秋（48期）半田収一郎（50期）
- 以上50期までを敬称を略して記させていただきます。

（編集部注）柳澤さんは元幹事長。現在軽井沢町に在住。長年福祉委員を務められ、今夏町から功労賞を贈呈されました。



寄稿

### 上田中学

### 37期、82才の報告

37期 新井 邦夫

去る9月19日、季候の良い、しかも交通の便の良い上野精養軒で同期会を開催した。集まる者例年と同じですが、順序不同で紹介します。

まずNTT社長をやった原田氏（阪大出）、彼に会長として名前を貸してくれと頼んで皆に計った所、「君がやれ」と言われ、会長は来年また私がやることに

なった。私は陸士出（55期）で、マレ1、シンガポールに参戦、最後の一兵が帰るまで帰らないと頑張ったが、今の時代にはふさわしくないと会長はやめるつもりであった。母校百年祭には参加したいと同窓会館に行ったが、間違つて一年前に行つてしまつて、その時一金百万円を寄付して来た。

同期会当日一番先に来場されたのは清水兄、私も一時間前に行ったがもう出られ、今倉庫業をやっている。

次に岡清助氏、彼は通信監理養成所出身で昔上田柔道部に属し、今上田梱包（株）の社長として俳句を良くしている。37期会本部会長の小林軍司氏を上田に見舞うと言つていた。宮沢氏（蚕専出）も信州の飯田市より出て来た。

阿野氏（東大法出）は会長をやらせれば会を退会すると言つてやらない。道路公団の主であった。

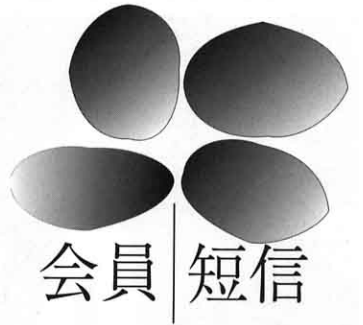
次に古畑徳宝氏、昨年はすぐ隣の韻松亭まで来たが場所に行かれなかったと本年は参られた。彼は名古屋高商出身で杉並区に在住、今は福祉の道に進んでいると聞く。

久保田康夫氏（蚕専出）は老人医療で急に欠席した。浦和に住んでいる。以上八名、毎年同期会を行っている。

若者よ、我々の時は東大に毎年十人以上は受かつていた。勉強する時にはしないと一生悔いが残りますぞ。

若者よ、次の日本を頼む。私は足立の小学校連合会会長までやったが、今

はもう高齢で何も出来ませんので。



# 会員 短信

(主に本年7月の通信です。氏名の下の数字は卒業期です)

▼若林元典 29 年はとりたくないもんだー！を実感しています。

▼澤田光雄 31 老齢のため夜間の外出は控えています。

▼土屋 学 31 入院中です。8月末退院の予定です。(無事退院)

▼田中柳一 32 校舎や先輩、後輩の諸氏の姿が霞むほどご無沙汰を致しお礼深謝ほかなし。腰痛あり、体調一応保っています

▼宮崎光邦 32 古城の門を出て既に70年近くなる。いつも会報懐かしく拝見している。87歳ともなれば足腰は痛む。だが未だにゲートボール、囲碁を楽しんでいます。

▼村上寅雄 32 今年の9月で米寿です。毎日を無事消化しています。環境問題のダイオキシンに関心あり(サッカーを見ながら)

▼橋本利政 33 33期同窓会(最終)(東京は続ける) 去る5月27・28日同窓会幹事の柳沢巽芳より最後の同窓会にしたいので、東京もこぞ出て出てこい

や！との声がかかり小生他東京

より6名、在郷8名計14名が集まり東部町田沢の大田区保養所で開催。寄る年波には勝てず、杖をつくもの約半数という状況、名残りつきぬ一夜を山麓の宿で過ごし、帰路永らく幹事を務め面倒を見てくれた丸山一也君(14・29逝去)の霊前に線香を捧げて別れを惜しむ。

▼松井正直 34 年並みに元気にしています。

▼大井卓雄 35 私たちの頃から音楽作業(工作)などの学科が加わった。作業はお堀の掃除、裏の畑のトマトの栽培、便所の肥やし担ぎ。トマトを食べるクラスメートは半数だった。同期から第一高等学校への入学者が3名もあつた。懐かしい時代だった。

▼新井邦夫 37 9月に37期会を上野精養軒で開催。集合人員10名内外。(別掲)

▼宮原 敦 38 毎日元気でおります。

▼矢島勇雄 38 高齢ながら元気に暮らしております。

▼小林良一 39 変わりなく堅固に過ごしております。

▼渋谷芳三 39 会の隆昌を祈ります。高齢・歩行不如意のため欠礼致します。

▼小林一彦 40 同窓会会員諸兄にはご健勝のほどを祈念申し上げます。

▼村瀬 均 40 自宅療養中です。

▼吉田節生 40 畏友・故小山弥吉兄のご長男母校校長で就任、転々たる感慨無量です。戦時中の出席者少なくなり何となく足が重くなります。例えば会費減額

などで出席させる名案がないのか?

▼生島信夫 41 会報拝読。携わられた皆様のご労苦に思いを馳せ、深く謝意を申し上げます。しばしば健児諸兄に寄せられる数多くの賛辞を耳にします。尚、事例をあげ語られます。称えらるるは風土、地域性等に起因するものかといろいろ予測されま

す。究極は個々それぞれの持ち味発揮の現われと心にしみます。いま日本教育評論家協会理事長に推され、会員相互の対話、刺激を練り返し、「知を創る喜び」に浸れるよう展望を巡らせています。惹かれるは、関東同窓会。

▼金沢光男 41 一応元気で仕事をしたり、雑文を書いて楽しんでいますが、同期の消息が少なくなっていくのが残念。41期生の在京者より奮起されて会をもつてくれ給え!

▼清水栄一 41 幸いに元気で平常業務をやっております。8月で79歳になります。母校のご発展を祈念いたします。

▼栗田裕夫 42 3月中旬中国からの要請により広東省深圳市で流通業についての講演を行ってきました。聴講生は関係企業の上級者。非常に熱心でした。

▼小林孝雄 42 二世帯住宅がようやく完成し、引越を終えましたがまだ追加工事や家財の整理に追われています。

▼柳原寿一 42 H7・11・3秋の叙勲・勲四等瑞宝賞受賞。

▼横山十四男 42 元気でボラン

ティア活動をしています。

▼金子 健 44 最近少々体調を崩したため、町会活動も今年度から休んでいるような近況です。

▼黒岩喜四郎 44 最近長野県の進学校と称されている名門校が軒並みダウンしているとの情報が流れています。母校も入学定員は決まっているらしいが男女の規定がないとのこと。男女平等とはいえ決まりのないところにどうやら原因があり、他県の良識を見習うべきであると日頃痛感している次第。同窓会もまじめに原因追及の時期にきていることを提案してやまない。

▼滝沢源平 44 4 今年74歳になりました。健康維持のため仕事とゴルフに熱中しております。

▼内海辰三 44 5 山ざる会(旧東北会(真田・傍陽方面)旧制時代には通学地域方面等を中心とした会合があり、それが母体となって新制の人たちも含めて親睦会が結成されております。これらの会の活動状況等を随時会報で知らせてほしいものです。

▼久保田昭寿 44 5 勤務先はここ一年程度で引退する予定です。同期の久保田勝久寿君宛の総会通知が私のところに来ます。本人に送っておきました。調査願いたい。

▼掛川暉夫 45 国際親善総合病院にまだ勤務しております。次回是非出席致したく思います。

▼金子寿夫 46 おかげ様で元気に暮らしております。

▼水澤 博 46 当方人生劇場三幕目、7年公演中。暇のようでもなく忙しいようでも忙しくもなく、ゴルフ・パソコン研修。上田へ帰省しての草むしり等々楽しくやっています。

▼上野平八郎 47 元気な孫どもに囲まれるのんびり暮らしています。

▼田沢 徹 47 勤務先(多田プレス工業・株)は今年6月より監査役として非常勤となりました。

▼牧内 操 47 「関東同窓会の歩み」はよくまとめていただいで感謝します。東映の先輩は田中常務(フルネームは不明)33期で土屋二三男さんと同期、とても良い人でした。

▼山崎繁廣 47 久しぶりに父母の法要で上田に帰り、上田高校に立ち寄った。校門の前でわれら戦中、戦後を過ごした当時を回想して、校歌を口ずさんで感懐としました。

▼桐山博光 48 北欧に半月ほど旅行して来ました。ボケ防止にパソコン教室を開いています。

▼倉嶋保夫 48 このところ体調を崩しております。

▼田原 敬 48 関東同窓会の歩みを変奏興味深く読ませて頂きました。発足当初の苦勞話、さすがに一桁台の先輩の記事に特別感に打たれました。

▼中澤利雄 48 健康保持に努め、諸事に関心をもち感動を体験し感謝しながら日々楽しく過ごしたく存じます。

▼中村哲治 48 古希の感なく元気に過ごしています。

▼堀内 惇 48 母校100周年に対応した立派な業績を上げられた関東同窓会の役員諸兄に敬意を表します。

▼吉村 功 48 会報を頂き関東同窓会の歩みを拝見し皆様の草創期のご苦勞がよく解りました。

▼依田好永 48 現在病氣療養中です。

▼龍岡 桜 49 55回卒の遠山武彦君(41回総会実行委員長)には時々あつていろいろ話を聞いております。

▼堀内寅次 49 あつという間に古希も過ぎ毎日元気に過ごしております。我々49期は年2回のゴルフ会に、年4・5回の名所巡りの歩く会をやっております。30名はいつも集まり、夕方一杯やっております。

▼花岡 潔 49 同期の小沢泰衛君(会計検査院)が春の叙勲で「勳四等瑞宝章」を受けました。

▼金井忠雄 50 会報いつもありがとうございます。編集にひと言一写真を多く載せ、総会風景や母校のスナップ写真などカラーでいかがでしょうか。50期の卒業50周年記念関東大会は5月24日、高輪プリンスホテルに恩師齋藤先生・荒木先生をお迎えして100人近く集まり大盛会でした。

▼清水章男 50 50期の関東会の卒業50年を祝う会が5月24日高輪プリンスホテルで開かれた。「君は誰だっけ?」「君だったのか!」胸の名札を見ながらこんな声が会場のあちこちで聞かれた。友よ!水らく、ご無沙汰を許せ!そして命ある



限りこれからも達者で暮らそう！

▼有賀秀雄51 護国寺近くのマンションの管理人をしており毎日が多忙な連続です。

▼上原隆雄51 本年2月でキユービー(株)顧問を退任しフリーになりました。東京上田会異業種交流部会で頑張っています。

▼白田 稔51 同窓会の歩み拝読しました。わんだれ会、経済問題懇談会のことなど大変懐かしく、池田義男君を講師に迎えての糖尿講習会等日に浮かびます。

▼龍野勇介51 私はこの平成14年4月末日で(株)庵建築設計事務所を退社し後輩に後の経営を譲りました。

▼保坂利勝51 半日の仕事を終えてレストランで食事をする直前、急性心筋梗塞のため救急車で日赤へ。幸い命を再び得、昨日退院、これで仕事をやめ少時養生して教室へ通いITを学びます。体あつてのものをつくづく思いました。家内に感謝しています。散歩を少しずつ始めつつもりです(6月9日朝)。

▼六川二郎51 東横インは火・木出社の監査役、月・水・金はベンチャーのFSS(株)を手伝っています。

▼六川博輔51 6月7日~28日ヨーロッパへ行ってきました。元気で働いています。

▼八木浩輔51 来年4月より浦和大学に改組されます。その準備で忙しい毎日です。「人間総合科目」担当です。

▼石合正和52 6月27日付を

もつて(株)アプラス社長を退任しました。

▼小山亮志52 英国デボンのカントリーサイドの話を執筆中です。

▼橋爪今朝男52 元気に頑張っています。1、混声合唱 2、荒川の源流を目指して歩く(現在秩父の札所を回っております) 3、俳句 4、庭の草花

▼松沢秀雄52 2001年3月退職し悠々自適です。

▼宮島廣人52 昨年9月会社を定年退職しました。

▼柳沢 忠52 在京52期有志による「二木会スペシャル」は昨年12月3日、昭和の森ゴルフコースでゴルフコンペ後、夕方よりフォーレストイン昭和館で開催。16名が参集した。

▼若林英鋭52 上田東高校出身という若い男が電話で勤務先まで上田高校への寄付を勧誘してきました。名簿が外へ流出していませんか。

▼大塚教夫53 小生、地域のボランティア活動に精を出しています。

▼懸川文夫53 年会費の納入年度が本人に分かるようにできないものか。

▼塚田 靖53 東京学芸大退官後、尚美学園大学に勤務しております。今年から音楽表現学科の学科長をさせられ、ひどい「イジメ」にあっています。

▼村松 厚53 インターネットに取り組んでいます。最もゲームで楽しんでます。

▼三井 毅53 自営業を閉じて1年になります。生活のリズムが狂って体調が勝れない

毎日です。

▼有賀俊雄54 毎日多忙です。健康に注意してもう少し頑張っているかと思っております。

▼大瀧 巖54 去年(13年末)退職、サンデー毎日。同時に体調良しからずオーバーホールが必要状態です。

▼掛川 久54 都留には上田高校の後輩も何人か居り懐旧談に涙したこともあります。

▼海瀬秀夫54 石井君の会長就任と共にご発展を祈念。

▼櫻井 敬54 先日奈良国立博物館の「東大寺全て展」へ行ってきました。奈良町に始まり江戸期の中興、明治、昭和の2度の大修理などの歴史や米、英、仏その他海外各国所蔵の名品など多く展示があり感銘を受けて帰ってきました。地元の武蔵国分寺にもいつその関心が持てそうです。

▼田村 朗54 6月末で和興エンジニアリングを退職いたしました。子会社の経営管理に少しだけ関係して基本的には年金生活に入ります。

▼中村一彦54 定年になって5年目、気ままに過ごしております。

▼深町勝男54 小生昨年の5月で会社をリタイアしました。現在は年金生活で時間的余裕があります。

▼藤村延魚54 去る3月31日をもちまして20年勤務しております。アメリカの会社チヨイスホテルズインターナショナルを定年退職いたしました。いまは(有)フジプランで結構忙しかつております。また生活習慣病

予防士の資格を獲るために専門学校へ通い学生生活をやっております。久々の学生も楽しいものです。

▼古谷隆男54 小生は平々凡々ですが何とか元気に過ごしています。W杯サッカー大健闘でしたが韓国の強さと思うと喜んでばかりはいられません。またいつ日本人の監督が生まれるのか情けないですね。

▼宮崎規作54 昨年4月足首を骨折し3ヶ月入院、今年4月ポルトを抜き楽になりました。

▼山浦輝信54 平成14年3月で定年退職しました。現在はサンデー毎日の生活です。

▼田玉尚武55 退職後趣味と健康をかねてパソコン関連のパートで過ごしています。55期会には行きたいと思っています。

▼土屋 務55 ゴルフもやらずマージャンもやらず運転免許も取らずただひたすらお国のために?(元運輸省)頑張ってきました。現在は土日返上して後輩のために研究に没頭している毎日です。

▼土屋英明55 本年3月サラリーマンを卒業しました。体調は先ず先ずですがのんびりとすごしています。

▼遠山幸三55 今年3月末に鹿島建設を退職しフリーとなりました。

▼萩原勝海55 小泉さんに振りまわされる毎日を送っています。(特定郵便局長)山間部の生活がどんなものかもわからず都会だけが日本国になってしまっているようです。

▼松尾 裕55 今年3月31日付でサンテックジャパン(株)を退職し、サンデー毎日となりました。

▼宮崎利夫55 同窓会名簿からの電話サービスが多く困っている友人が居ます。名簿は事務局だけにしたらどうですか。

▼関 健二56 定年退職して3年目、相談室勤務(月~木)です。学校訪問をしたり、親子との面談等で毎日が早く過ぎます。

▼長坂光登56 元気でやっています。来年は出席します。

▼榎本金二57 元気に働いています。年に一回くらい上田に行きます。

▼齋藤 紘57 エイベックス(株)を本年退職、充電中。

▼清水康弘57 登山で膝を痛めてしまいました。

▼関一行裕57 6月末をもって会社生活を卒業です。

▼田中和寛57 昨年3月末に定年退職しました。

▼土屋信雄57 電通のあと、グループ会社に勤務しています。毎日一杯やっている割には土・日曜もままならぬ日々です。

▼中島順造57 今年3月末会社を定年退職し、郷里(上田)に戻り毎日暑い中農業に従事しております。

▼比田井忠和57 今年6月で完全に現役を退き、これから何をしようかと思索中です。

▼山崎雅子57 一人分だけ年会費を振り込んでいます。新聞・お知らせ等同じ家ですから不用です。でチェックの上一人分のみお送りください。

りください。

▼渡辺静雄57 6月25日付で三和シャッターの副社長に就任の予定です。ひと踏ん張りするつもりです。皆様ご支援ください。

▼栗原 裕58 7月11日よりスペインに帰ります。「スペインひるね暮らし」拙著もよろしく。OB図書館に入れてください。筆名は中丸明。

▼清水壽一58 58期会、58-7組会小諸会に出席し先輩方と交流できました。次へのジャンプ、ステップもここ1~2年で工夫したいと思っています。

▼宮島武源58 地区別、期別の分科会なども面白いと思います。

▼宮本忠昭58 Eメールで皆様の近況を伺っています。まだ現役で、肺癌の放射線治療に携わっています。

▼山邊光一58 この6月で61歳になりました。勤務先は定年退職となり年金生活者になりました。(月2~3日出勤する非常勤の会社はありますが)

▼相木弘美59 病気療養中です。うな年齢になって登山が昂じて冬山のめり込んでいます。目標の百名山登攀完了はいつのことになるやら?

▼稲葉 茂59 まことに申し訳ありませんが、会社も退職しましたし、信州上田へはちよくちよく顔を出しており特に「関東」といった意識はなくなりましてので退会させていただきます。全体の同窓会維持会費等は続けます。同封の払込票で14年度の会費は振り込みます。今までのいろいろありがとうございました。

▼稲葉 茂59 まことに申し訳ありませんが、会社も退職しましたし、信州上田へはちよくちよく顔を出しており特に「関東」といった意識はなくなりましてので退会させていただきます。全体の同窓会維持会費等は続けます。同封の払込票で14年度の会費は振り込みます。今までのいろいろありがとうございました。

▼加藤 高59 来年の3月で定年の予定です。

▼芹沢 功59 57歳で大蔵省(財務省)を退官し、本田技研工業(株)本社に勤務しております。本田技研工業(株)に入社して4年目元気に勤務しております。

▼宮島良成59 外国(米国)を旅行してきました。日本の物価の高さを感じさせられる旅行でした。でも日本のほうがいいですね。食事、伝統文化、自然環境等いろいろのレベルで。

▼今井勇雄60 小生も来年は定年であります。いまのところ元氣印で平凡な日々を過ごしております。

▼袖山 脩60 平成14年3月信越化学工業(株)退職。

▼竹倉征詞60 大阪単身赴任中です。もし関西同窓会がありましたら連絡先を教えてください。よろしくお願いいたします。

▼塚田 晃60 定年まで1年余、まだまだ現役で頑張っております。

▼土屋啓五60 卒業40周年の身、望郷の念更に深いです。

▼中垣實三60 会社ようやく落ち着き始めました。この四年間私にとっては貴重な経験の連続でした。少し人生勉強できました。健康に感謝です。

▼大澤義隆61 子供たちが成長し手狭になったので、転居しました。大宮駅からは少々離れてしまいましたが広くゆとりとした所に住み替えた次第です。近くにお住まいの方々にはよろしくお祈り致します。勤務先が神田から川越に変わったの

で関東同窓会にはこの頃無沙汰しておりますが、機会を見つけたら出席させていただきます。  
▼井上 剛61 同期の滝澤雅雄君が個展を開きます。第四回滝澤雅夫(山) 個展 於 東急スクウェア11階ギャラリー(八王子駅北口ロータリー前) 11月24日~27日。朝10時~夜9時(最終日8時) 24日は私も見に行きたいと思っております。本人はこの期間会場におられるそうです。  
▼滝澤雅男61 ささやかながらNPO活動と余暇は主に油絵制作で過ごしております。  
▼朝沢 智62 営業範囲が長野も含むため、時折在任の同級生と会い懐かしんでおります。  
▼片山隆行62 二年間の出向中です。来春に県に戻ります。  
▼山浦善樹63 私事ですが、本年度から司法試験審査委員(民事訴訟法)をしています。上田高校卒業生に頑張っていただいたいと思います。  
▼島田彰男64 さまざまな事情で親元から離れてクラス68人の子供たち(幼稚園生、高校生)が、心の故郷として良かったと実感できる施設運営に、職員と一体となって取り組んでいきます。  
▼高梨芳男64 本年6月末より大阪勤務です。  
▼山崎一郎64 社長交代後の雑務に追われています。  
▼小山雅堂65 同期の方々と共に飲む機会がここ数年増えました。その場では議論白出、時には朝まで盛り上がり。皆そ

んそのまま会社へ出勤しながらも、普段以上の仕事を平然とこなし、夜になると前夜の続きというそのおそろしさ。高校時代と変わらぬ元気の良さ、猛者ぶりに小生はただ感服。人生これからが本番だと思ふこと頻ります。

▼滝川幸子65 信州で一人暮らしだった母を引き取りました。信州上田に実家はまだまだありますが帰省する回数も減りました。「故郷は遠きにありて思うもの」の感を深くしています。

▼柳沢賢次65 来年はぜひとも参加したいと考えております。

▼柄澤則夫65 早いもので35年が過ぎたということですね。会報にて同期の小山壽一氏が校長になられた事を知りました。サッカー部で活躍されていたの思い出しました。嬉しい限りです。

▼柳澤光美65 選挙参院比例区立候補)のお陰で、小、中、高、大学まで多くの仲間との関係が復活し心より嬉しく思っております。これからも宜しくお願いいたします。

▼山浦陽士65 今年4月に納税課に異動し経済状況の厳しい中、収納率アップに日々頑張っております。(弁護士)

▼柳澤公雄66 いつも会報をご送付くださりありがとうございます。年会費は後日送金致します。

▼水島良子67 5月26(日)の朝日新聞の「私の視点」に同級生の村越君が出ていて同期

の女性で喜び合いました。関東同窓会の皆様のご活躍をお祈りしております。  
▼高梁 実69 58期卒の女性で、卒業式の日に校門近くのお堀の所で小学一年生の少年と写真を撮った方は消息をお知らせください。(事務局へ連絡を)  
▼花岡千賀子70 岩手に引越して3年ですが関東同窓会から継続してご案内をいただけているのはすごく嬉しい事です。  
▼虫明陽子70 同郷の皆様のこと、いつも懐かしく思っております。またの機会にお目にかかれることを願って皆様方のご健康、ご活躍をお祈り申し上げます。  
▼関 博明72 中国支社に異動して9ヶ月、あと3年程は広島に単身です。昨年は欧州出張で欠席、そして今年も・・・。残念で仕方ありません。広島にいても上田高校OB会の一員の誇りを失わず頑張ります。(株)東京美術倶楽部に変更しました。  
▼牛田宏子77 夫の転勤で知人も居ない水戸へ来て6年、会報を目にするたびいつかは上田へ帰ろうと思っております。千波湖をウォーキングしながら山が恋しいこの頃です。  
▼清水宏美78 只今本人はアメリカシカゴに家族共々移っておりますが、いづれ戻ってまいりますのでご連絡は留守宅のほうへお願いいたします。

(代筆)  
▼宮坂一也81 昨年11月より転勤で米国デトロイトに移住しております。

▼坂下嘉章84 関東地方に住んで10年になります。今年になって初めて本同窓会の案内をいただくようになりました。会費納入者名にも数多くいる友人達の名前も見受けられないのですが、本同窓会の位置づけは一体どの様なものなのでしょうか? 工藤奈保美86 去年10月に仕事復帰し(保育士) 4月からは障害児の通園施設に勤務となりました。私自身3歳の娘を保育園に預けながらの状況ですが、親としても大変勉強させていただいております。子育て中のため、いろいろな会には参加できませんが同窓会のご活躍を耳にするにつけ、大変嬉しく思っております。

▼榎本敦子96 平成9年度の卒業生です。今春から社会人としての生活が始まりました。今は新しい環境に慣れなければと必死でいます。失敗も多い分やりがいを感じ楽しく毎日を送っております。

▼白鳥智美97 植物を育てているので毎日水遣りが大変ですが、日々変化する植物を観察するのはとても楽しく充実した毎日を送っております。

▼竹花 卓99 来年はぜひ出席したいと思っております。(昨年は無料でありがとうございました)

▼竹花佳奈99 皆さんのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。来年はぜひ参加させていただきます。

アンケートにご協力有り難うございました。  
アンケートでは皆様の貴重なご意見を賜り、厚く御礼申し上げます。  
長野初の介護専用住宅「ヒルデモア戸倉」は平成16年春オープンを予定しています。「老いて豊かと語れる暮らし」を実現するため、今後も応援をお願いします。



株式会社サミュエル

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-14-4  
本社 TEL.045-476-2085

68期 碓田 茂





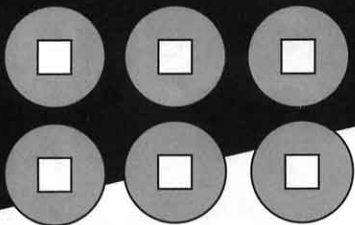
# ◆年会費 納入者 氏名

◆平成14年4月1日～平成14年9月30日までの納入者。  
 ◆氏名の後の数字は、複数年の会費を平成何年まで納入されているかを示しています。  
 ◆お問い合わせは、事務局・幹事長成田まで  
 ( Fax : 045-864-5835 e-mail:Kenny-n@ttmy.ne.jp )  
 ●会費の納入にご協力ください。 なお、36期以前の会員は、会費が免除されます。

28期 田中五郎14	高橋昭平17 中村 強15 中村 司14	49期 井出和彦14 大石和夫14	内久根 孝一18 金井高男17	出野 今朝雄14 大塚教夫16	小松邦男14 櫻井 敬18 清水 等14	土屋 務14 鶴見貞夫24 遠山幸三14	58期 伊藤文明21 大日向 寛敏15	出嶋 紀一郎14 中垣貫三14	64期 石井則男14 一場 美智子14	駒津敏洋17 笹澤和平14 田口 博18	72期 岩崎裕治14 関 博明14 関 雄二14	
33期 石井正六16	星野賢造15 堀内茂雄14	荻原 賢18 小口芳彦14	鎌野秀嗣14 浦生卓磨14	尾沢正毅14 甲田裕茂14	田村 朗18 千村一平18	遠山武彦14 長峯道明14	金子親碩15 小山 泰18	長崎 誠15 中島恭一14	小松正佳14 野田将弘14	美智子14 宮坂栄一14	竹内豊和14 田中 茂18	柴田壽子14 73期 宮坂栄一14
38期 宮原 敦14	柳沢清史14 45期 掛川暉夫16	小野 実14 風間 充15	武井 厚14 田村忠男16	小林乾泰18 芦川 芳14	土屋勝俊15 土屋重基18	樋口宣明14 平野 誠17	城下 尚18 滝沢一彦14	西沢國隆14 橋本隆弘14	清水淳郎14 永井信介17	西沢國隆14 古谷明子14	柳沢公雄18 67期 龍野秀雄15	小平安人14 74期 大場英明17
40期 石木 林17	金子寿夫15 清水巻郎16	久保利夫19 小林喜六16	保坂利勝15 堀内弘栄15	高木快雄19 服部 総一郎22	花房伸吉14 馬場武彦15	宮下衛之14 宮島光男21	塚田恒雄14 寺島 知恵子20	増田久人14 松木 強14	野田将弘14 箱山博見14	寺島 丸山久勝14	萩原久俊15 75期 山崎 哲14	萩原久俊15 76期 宮島省吾18
41期 小平一彦15	佐藤 喬32 藤家 衛15	滝澤茂夫14 田村和男14	宮川 司16 村田 寛17	保屋野 悦男14	土屋勝俊15 保谷野忠19	赤尾信吉21 上原清治19	寺島紘士18 芳賀敏道15	丸山哲之17 渡辺達三18	野田将弘14 村居次雄17	寺島 渡辺達三18	丸山洋一18 69期 尾立孝司22	竹内幸隆16 77期 宮島省吾18
42期 佐藤成男16	田中正雄31 中村義夫15	藤家 衛15 藤家 衛15	藤家 衛15 藤家 衛15	保屋野 悦男14	馬場武彦15 馬場武彦15	宮島光男21 赤尾信吉21	寺島紘士18 芳賀敏道15	丸山哲之17 渡辺達三18	野田将弘14 村居次雄17	寺島 渡辺達三18	丸山洋一18 69期 尾立孝司22	竹内幸隆16 77期 宮島省吾18
43期 小林朝衛16	唐沢敏雄15 熊川次男14	藤家 衛15 藤家 衛15	藤家 衛15 藤家 衛15	保屋野 悦男14	馬場武彦15 馬場武彦15	宮島光男21 赤尾信吉21	寺島紘士18 芳賀敏道15	丸山哲之17 渡辺達三18	野田将弘14 村居次雄17	寺島 渡辺達三18	丸山洋一18 69期 尾立孝司22	竹内幸隆16 77期 宮島省吾18
44-5期 生島和幸18	清水雄司16 高柳直樹18	藤家 衛15 藤家 衛15	藤家 衛15 藤家 衛15	保屋野 悦男14	馬場武彦15 馬場武彦15	宮島光男21 赤尾信吉21	寺島紘士18 芳賀敏道15	丸山哲之17 渡辺達三18	野田将弘14 村居次雄17	寺島 渡辺達三18	丸山洋一18 69期 尾立孝司22	竹内幸隆16 77期 宮島省吾18
44-4期 黒岩 喜四郎14	山極善郎26 山崎延秋14	藤家 衛15 藤家 衛15	藤家 衛15 藤家 衛15	保屋野 悦男14	馬場武彦15 馬場武彦15	宮島光男21 赤尾信吉21	寺島紘士18 芳賀敏道15	丸山哲之17 渡辺達三18	野田将弘14 村居次雄17	寺島 渡辺達三18	丸山洋一18 69期 尾立孝司22	竹内幸隆16 77期 宮島省吾18

# ◆運営基金 拠出者氏名

50期：竹内啓爾 60期：吾妻裕三 62期：中村房子 65期：柄澤則夫  
 65期：小山雅堂 74期：荻原久俊 (合計 7万円)  
 平成14年9月30日現在  
 基金元本累計：8,880,000円 金利含め合計：11,337,264円



# 会報68号

次の方々から寄付をいただきました。

66期 (昭和43年卒業)

島田由美 北沢英雄

# 訃報 ご冥福をお祈り致します

(敬称略)

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 21期：島川 進 13年10月30日   | 27期：小山清吾 14年2月2日   |
| 28期：田中五郎 14年5月13日    | 30期：杏掛友彦 12年9月22日  |
| 31期：荒井 功 14年5月12日    | 33期：中曾根五郎 14年2月22日 |
| 34期：土屋信夫 14年4月26日    | 39期：志津田瑞穂 10年5月12日 |
| 41期：甲田 睿 13年3月       | 40期：長谷川和音 10年2月20日 |
| 43期：松園 裕 14年6月21日    | 41期：飯塚哲夫 14年4月14日  |
| 49期：井上 勉 13年6月4日     | 45期：狩野 久 14年3月30日  |
| 50期：掛川旭朗至 12年4月27日   | 50期：渡辺宏泰 13年3月     |
| 53期：宮下悦夫 13年2月       | 51期：上原健史 13年6月10日  |
| 58期：丸井(柳沢)郁夫 7年12月9日 | 54期：小市忠夫 14年4月20日  |



# 特別企画 座談会と寄稿による 母校・証言の百年



連載第5回 続編①前編  
校舎改築から12学区制へ

会報62号〜65号で「母校・証言の百年」を企画した際、座談会に出席された最後の方は75期でした。その後、引き続き「新しい期の方で座談会を」という声が寄せられておりますので、今回は70期台後半の方々にお集まりいただきます。(文中敬称略)

**成田** お忙しい中、ありがとうございます。皆さんが卒業されたのは、昭和51年から55年です。田中角栄の「日本列島改造論」が昭和48年。それから石油ショック、狂乱物価などを経て、公定歩合が9%台に乗ったのが55年ですから、日本経済が過熱していた真つ盛りの頃高校生

## 出席

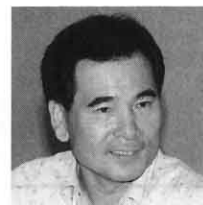
土屋三千夫 (74期・軽井沢) 早大商→コムテック  
荻原久俊 (74期・東部町) 早大教→NHK  
柴崎由美子 (76期・旧姓伊藤・上田市) 日本女子大政卒  
山本直人 (77期・埼玉県) 東海大海洋→上田日本無線  
増田則夫 (78期・上田市) 東京工大(大学院)→日本電気  
(寄稿) 渡辺博<sup>とおる</sup> (78期・上田市) 青山学院大→ミシュラン・オカモトタイヤ

## 司会 (副会長・幹事長・編集長)

宮島光男 (55期・東京外語大→共同通信OB)  
/成田邦夫 (56期・東京水産大→伊藤忠OB)  
/寺島知恵子 (58期・東大卒)  
/井上剛 (61期・東大→学研)

活を送った方々です。

上田高校も木造校舎が取り壊されて鉄筋校舎に変わりました。現代化の時代ですね。まず、高校生活の思い出からどうぞ。



**土屋** 成田さん達が甲子園に出られた昭和32年、私はちょうどその年に生まれました。高校時代の思い出と言えば野球に明け暮れた3年間です。出身が軽井

沢なものですから、練習時間が無い中でやっていました。3年の時は野球をやるために上田に下宿しました。夜も素振りが出来るということ。

勉強の方は野球が終わってからやつつけですが科目を絞って、3科目ぐらいしかできないので私立を目指し、なんとか通りました。

**成田** 高校生活としてはいい思い出ですね。

**土屋** そうですね。一番の楽しみは勝って凱歌を聴くことでしたね。これが今でも耳に残っています。吹奏楽が1回戦ぐらいですと来てくれなかったですけど、1回勝つと2回戦ぐらいから来てくれて、また次も来てもらおうと凱歌を聴くことが励みになりました。

**井上** 凱歌の歌詞はいいですね。吉村武生先輩があれを作ったのは16才の時だったのですから、昔の人はすごかったですね。美しい故郷の夕映えの山河、そこにとどろく陣太鼓と高くはためく旗に青春のたぎる血潮と決意が歌われている。

**山本** そうですね。凱歌を歌うときはやっぱり寒気がしましたね。寒気という大変ですけど、鳥肌が立つというか。

**井上** 山本さんは応援団をやられていたんですか。



**山本** 私は副団長をやっていました。勉強より副団長の方が面白くて。(笑い)  
**井上** 当時も新入生を講堂に集めて?  
**山本** もう、それだけが楽しみだったです。(笑い)

**宮島** 僕らの頃はあのポロポロの講堂のささくれだった床に1年生は正座させられて、回りに応援団が竹の……。

**山本** ええ、竹刀ですね。

**宮島** そう。竹刀を持っていて、「ソレー」とやっていた。そして、正門と裏門に応援団の2年生が立っていて、絶対出さなと言われていた。それやっていました?

**山本** そこまではいきませんでしたけど。(笑い)

**井上** あれ、そういうのはいつ頃まで続いたのでしょうか。

**山本** 僕らが出た後のことは分かりませんが……。

**増田** 講堂は私が卒業した年ぐらいに壊れたんじゃないかと思えます(昭和55年)。3月に卒業して、たぶんその春休みに。

そしてその次の年ぐらいにかけて古い校舎は全部壊されたのだと思います。私の頃は、60番台教室かな、市役所側にあつて、梯子でつかい棒されていた校舎、あれはすでに壊れていました。

**柴崎** 私は2年生ぐらいの時にそこをク



レインで壊しているのを見ながら勉強してました。新校舎はたぶん一番東側端の一部だけできた校舎に入っただけですが、廊下にビニルがぶら下がっていて、ここから先に行くとき4階から落ちますという、結構恐かった想い出があります。

**宮島** 工事はうるさかったですか。

**柴崎** ガガガと隣でやっていました。プレハブのちっちゃな校舎にもいましたし…。

**増田** 夏休みに補習とかありますね。その頃休みにはいると工事をやっていて記憶があります。

●移動教室と部室が想い出

**宮島** 萩原さんの想い出はどうですか。  
**萩原** 僕らの頃は校舎はまだ完全に古いままの時代で、女性も少なかったん



取り壊し寸前の60番台、50番台校舎

だけど、あの高校のいいところはクラスで授業を受けないで授業ごとに教室を移動して歩いたこと。60番台が国語かな、



50番台が社会とかね。朝クラスに行行って会ったらそれっきり夕方まで会わない級友もいる。ふだん基点になっ

ているのは部室で、教科書も全部部室に置いておく。教科書を持つて部室から出て行って、授業が終わると座布団持つて部室に帰るといのがよかった。

**土屋** 僕は、クラブはバトミントンをやってた。当時は弱小だったが、インターハイに出た。

**萩原** 練習場は、まさに先ほど話題に出た講堂。天井が低いから引つかからないように低く、速い球を打つようにした。もう一つの練習場は上田公園。技術の他に持久力が大切だということで、毎日お堀を何周するとか走った3年間だった。

また、毎日だと単調になるので、秋和神社まで走って、あの階段を登った。

**成田** あの階段ねえ。私らも汗流しました。

**萩原** あともう一つは、僕らの次の年から学区が変わったんです。

**土屋** そう、軽井沢から来たのは私らが最後でしたね。次の年から来られなくなっちゃった。

**萩原** それまでは同じ学年に佐久の人がいた。彼らは優秀なんですよ。(笑い)

野沢北とかあるのに電車に乗ってわざわざ来るわけなんだからね。

**成田** それはね、僕らの頃も言われたよ。小諸にバレーをやっていた級友がいるんだけど、おまえら上田のやつは当たり前なんだけど、俺達は大変なんだと。やつぱり彼らは勉強できるんですよね、本当に。

**宮島** 増田さんはバレーボールだけど、上田のバレーボールもなかなか伝統があるんですよ。

**増田** 私の時はみんなまじめにやっけて私も貢献はしてないんですけど、県大会4位ぐらいかな。松商とやって力尽きていたような感じでレベルが違いました。

**宮島** 僕らの頃はインターハイ出て全国3位になったよ。

**増田** そういう話だけ聞いていて、先輩が来るとおそれていました。その日があるんで。(笑い)

**宮島** 大学に行っている先輩が指導に来るといことはなかったの。

**増田** ありました。それがやたら厳し



いんですよ。自分たちはインターハイ出たとか、剣道も2位とか3位とかそういう成績を残しているものだから。ただ

私の時は坂城町の上の方とか丸子の奥の方からとか遠くから通っている人が多くて、部活にそんなにうちこんでくさないといいところだった。部室は桜並木の一歩奥。そこでトランプやって一

日が終わるとい感じでした。  
**成田** 部室には寺島さんも想い出があるのでは。

**寺島** 私達の頃は、女子が入り始めた頃です。女子トイ



レと更衣室を初めて作っていただきました。でも、更衣室が運動部の部室を区切ってその真ん中にあるものから、ふしぎなニオイがこちらからたくさんしてきました。(笑い)

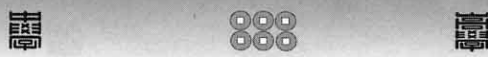
**宮島** 柴崎さんの想い出は？

**柴崎** 私は理科系で3年の数学と物理の授業が30何人中女子が二人だけで、その授業はラッキーだったかなと。家庭科だけは女子だけでやっていましたが、部活は写真班にいたんですが、土屋さんの期にYさんて先輩がいたじゃないですか、応援団でめちゃくちゃこわかったです。

**寺島** 家庭科室があるなんて不思議な感じがします。家庭科ってやってないわけですから。

**山本** 僕は、クラブは演劇だったけど、最初は野球部にはいった。それは体験入班というので、あちこち回って何日間か入って自分がどこに合うか確かめましようというのだったけど、初日は学校中走らされて、二日目はノックで好きなところを守りなさいというのだったが、軽く打っただけなんだけど硬球のあのシュルシュルシュルという音がこわくて、これは俺に向いていないなと。(笑い)

次に硬式テニスに入った。やはり、先ほど話があったように秋和の階段を登らされて、夏休みには合宿があった。体力



的に無理だなど思ったけど、合宿を逃げたと思われのがいやで、合宿が終わってから夏休み明けにやめました。それでぶらぶらしていたら2年の秋に松尾祭の演劇の発表会があって、演劇のライトをやる人間がいなかったので手伝わされた。それがなぜか翌年正式の班員にされてい

て、俺は入った覚えはないという話をしたんですが、「いや、お前は正式の班員で、今年の松尾祭には舞台上立つんだ」と言われて(笑い)、「いや、それは困る」と言ったんですが結局舞台上立たされま

した。まあその時に数少ない女子が後輩に入ってきたまして、結構可愛い子だったんですが、皆さんご存知の「バージニアウルフなんてこわくない」という劇をやりました。あれは4人でやる劇でみんなが主役なんです。それをやりまして、その時キスシーンがあるんです。まだ純

真ですからドキドキしてね、そうしたら、「実際にはやらなくていい」と言われま

して「オヤ？」とか思っています。(笑い)しかしまあ見ている人から見ますと本当

にしているみたいに見えるんですけど冷やかされました。また、部費があまり

無かったものだから頭を金髪にするのに金粉を塗ったんですね、しかも二日目

に金粉を買う金もないので翌日までその

ままいろと言われまして、松尾祭の間も

それでうろろろしていてその家で家に帰

りましたから両親に怒られました。そう

いう面白いことがいっぱいあったなど、

だんだんとよみがえってきました。

**成田** 金髪の走りですね。(笑い)

**山本** 僕らの頃は学区制が変わって何年

か後で、さんご先生から「学区制が変わ

って質の悪い生徒が入ってきた。お前は

その最たるものだ」と言われ、(笑い)

僕としては上田高校イコール勉強というイメージではなく、上田高校イコール遊びという感覚で行きましたね。そしてまた、それが許される校風でした。それから後ろ指を指されなければ自由にやりな

さい、というところがありましたから。

**荻原** 松尾祭といえば、我々の頃市民会館に山本コータローをよんで見に行きましたね。「岬めぐり」がちょうど売れて

る頃で、実行委員会の予算をほとんどつ

ぎこんだという…。

**山本** 紙粘土で作る「アンデパンダン展」

も面白かった。新聞紙集めて水でグチュ

グチュやって紙粘土作って…。

ところで皆さん、生卵をぶつけられた

記憶はないですか。

**成田** 誰から？

**山本** 先輩から。入学すると対面式とい

うのがあるんです。先ほど話題の講堂に

2年生と3年生が左右に分かれていて、

1年生が真ん中に入ってくるんです。そ

うすると、回りから、腐った生卵だとか

糸こんやくや牛乳をビニルの袋にグチャグチャに入れたのかが飛んでくるんです。中には生卵がそのまま飛んできてバシバシ当たるんです。これ歓迎の意味な

んですが。

**成田** そういう悪習は残していません

よ。(笑い)

**増田** それで私が3年

の時からやめましたよ

という話になって…。

**成田** うん、えらいえ

らい。

**山本** その前、僕らが2年の時にやっち

やいかんということになったんだよ。

**増田** だけど、靴下は投げたんですよ。

**山本** 投げました。それで3年の時かな、

やり方を変えたんです。先輩は両はじに

座らせられて、投げると先生から見える

ようにした。それでも投げましたけどね。

**増田** でも、僕らでやめになった後、担

任の先生が、「やるんだしたら堂々とや

れ、先生が言ったからやめるとい

うのでなく、やるのならもつと自信を持ってや

れ」と。「ああ、そうか」と思いました

ね。

**土屋** 今思うと、当時から服装も自由で

したよね。近辺ではあまりなかった。し

かし、その分バンカラな雰囲気というも

のがそれも含めて残っていたような気が

します。野球部と柔道部だけが学生服だ

った。

**荻原** とにかく自由自主性を尊重してい

たというか、学校に縛られたという印象

はないですね。お昼も自由だった。

**山本** 学食はありましたか？

**土屋** ありましたが、市役所の食堂に行

って、あまり上田高校の生徒が来るので



**成田** うん、えらいえらい。

壁に貼られた書。教室と運命を共にしたという



(編集部より) 70期台後半の皆さんも自由な雰囲気の中で高校生活を送られたようですね。この後、卒業後の話題に移りますが、次号のお楽しみといたします。また、78期 渡邊 博(とおる)さんから誌上参加で原稿をいただいておりますが、次号に掲載させていただきます。なお、旧校舎の写真は、森澄夫著「古城の門」より転載させていただきました。